

春季実習について

春季校内(6月7日～25日)・現場実習では、ご家庭からの温かいご支援をいただきありがとうございました。また、実習先への挨拶や日誌の記入等のご協力もありがとうございました。これから、現場実習に行く生徒もいますが、体調を万全にして実習に臨んでほしいと思います。

1年生:初めての校内実習でした。午前・午後と一日を通して作業等の活動をする体験は、2年生からの現場実習につながります。

2年生:初めて現場実習を行いました。障害福祉サービス事業所や企業で、大勢の方達と一緒に長時間作業や活動をすることは、学校ではできない貴重な体験だったと思います。

3年生:2回目の現場実習でした。秋季現場実習は、卒業後の就労のための実習となります。秋季現場実習に向けて、自分の強みを生かし、就労生活の定着が図れるよう1日1日を大切に過ごしましょう。

1・2年生は今回の実習の経験を秋の実習で生かせるように、**自分の課題をはっきりさせて**、これからの学校生活で課題克服に向けて取り組んでいく予定です。3年生にとっては、10月に実施する秋季実習で「卒業後に是非来てください。」と、実習先から言ってもらえるように全力で臨んでほしいです。これから秋までに**どんな力を身に付けることが必要なか**を考えて、学校とご家庭とで協力して、取り組んでいきたいと思います。

【2・3年生の現場実習先からのコメント】



<こんなところがいいですね>

- 返事、報告、相談をしっかりと行えるところが素晴らしいです。「はい」と大きな声ではっきりと返事ができることもよいです。
- 仕事をまじめに丁寧してくれています。作業速度も速くなってきました。
- 単調な作業だったが、集中力をきらさずに長時間立って作業を行うことができました。慣れていけばさらに効率がよくなっていくと思います。
- 一生懸命に仕事をしてってくれています。失敗も少なく助かります。
- 毎日遅刻や欠席なく通うことができました。体調管理ができています。

<ここを直すといいですね>

- 自分から挨拶ができるといいです。
- もう少しコミュニケーションがとれるといいです。もう少し笑顔も見られるといいです。
- 言葉遣いが少し乱れてしまうことがありました。どの場面でも丁寧な話し方を心掛けましょう。
- 仕事に集中して取り組めるようになるといいですね。
- 自分から体調の変化を伝えられるようになってほしいと思います。
- 自分からメモをとるようにした方がいいです。同じ事を何度も聞かなくて済みます。

<3年生の保護者様へ>

- いよいよお子さんの進路決定に向けて、動き始めなければならない時期になりました。また、18歳の誕生日を迎えることで「児」から「者」に変わるため、各市町村の福祉課等から聞き取り調査等のご案内が来る場合があります。「〇〇ができますか?」という質問には、「全部一人でできるのか」、「どれくらいの支援があればできるのか」等を正確に答えて、適切な判定をしてもらってください。
- 高等部生活最後の夏休みです。卒業後の生活に向けて、障害福祉サービス事業所のサービスを利用したり、家族の一員としての役割を果たしながら生活したりすることによって、社会人になることへの意識付けにつながります。秋には最後の現場実習を予定しています。担任との面談で話し合った所を『卒業後に希望する進路先』として、実習の日程調整をしていきます。就労継続支援B型のサービスを希望する方は、アセスメント実習を行わなければなりません。希望される方には、個々にお知らせしていきますので、ご協力をお願いします。

